

自然体験活動リスクマネジメント研修 活用事例紹介！

(1) ガールスカウト愛媛県連盟

ガールスカウト日本連盟公認リーダー養成講習Cにて事故事例を用いて、問題点の確認や解決方法についての話し合いを行いました。「KYTシート※1」の活用、「セーフティトーク※2」についてまとめた文書を作成、共有しました。

実際に団活動で森林散策をする際には全員にヘルメット着用を義務付ける等、リスク回避の徹底を図りました。

注釈 ※1 KYTとは危険予知訓練のことで、それぞれ危険(Kiken)のK、予知(Yochi)のY、トレーニング(Training)のTをとっています。

※2 セーフティトークとは、オリエンテーションなどの活動に関する説明を行う際の、安全にかかわる内容(説明)を指します。



団活動「森林散策」(ガールスカウト愛媛県連盟提供)



「えひめ山の日の集い」(株式会社武田林業提供)

(2) 株式会社武田林業

「森を感じる」をテーマに、11月6日(土)に開催されたイベント「えひめ山の日の集い」において、えひめ森林公園における「クロモジ茶が飲める限定茶屋」の運営、及び「ガイドと歩く秋の森林散策」の運営補助をしました。

事前準備においては、研修の内容を踏まえ、様々な危険要因(人的、物的、環境)に照らし合わせてリスクを洗い出し、当日の流れの確認を行いました。

(3) 東予地区愛護班活動研究集会

愛護班活動関係者、学校関係者、青少年健全育成に関わる方など58名が参集し、東予地区愛護班活動研究集会を実施しました。過去の事故事例をもとに、「未然防止に向けた注意は何か」「当日の指導者の役割はどうか」などのリスクマネジメントについて協議しました。



東予地区愛護班活動研究集会(東予教育事務所提供)

No.	時間帯	活動概要	発生確率	影響度	発生確率	要因
1	9:20~	挨拶	大	小	J	
2	9:30~10:00	自己紹介・アイスブレーキング	中	中	G	
3	10:00~11:30	清流探検	大	大	C D H	
4	11:30~13:00	魚つかみ	中	中	L	A
5	13:00~14:00	昼食	小	小	F	
6	14:00~15:30	種田ヶ城トレッキング	大	大	E	B I K
7	15:30~	字和へ出発	小	小		

No.	リスク内容	発生確率	影響度	発生確率	要因
3	危険生物(マムシ、マダニ等)	大	中	A	・不用意(または気付かず)に近づき噛まれる ・生い茂った雑草の放置
6	危険生物(ワズレ、鈴鹿)	+	小	D	・血清があ ・施設内の ・応急処置 予ともた ・連絡体制 でできるだ ・事前の準 ・由トナワ

リスク調査票(西予市教育委員会提供)

(4) 西予市教育委員会

四国西予ジオパークキャンプ事業

リスクマネジメント研修を活用して安全管理運営マニュアルを作成し、事前にスタッフ、参加者で共有しました。

右図は、開催場所に依って作成したリスク調査票(マニュアル掲載)の一部抜粋です。①でリスクを洗い出し、②でリスクの分析をし、③でそのリスクがどの時間帯に該当するか判断し、1つの表にまとめています。

(5) 南予管内市町等教育委員会連合会・南予教育事務所

国立大洲青少年交流の家を会場に「親子で楽しもう!」を開催しました。

リスクマネジメント研修を活用し作成した詳細案の中で、今回は「参加者への事前連絡」について紹介します。

参加者に対する事前連絡を、順を追って理解を深めてもらうために3回に分けて行いました。

事業への機運を高めるとともに、具体的に注意すべき点について事前に注意・喚起しておくことで、当日の注意事項の聞き逃し等を防ぐことができたと思います。



「親子で楽しもう!」(南予教育事務所提供)

リスクマネジメントに関するQ&A

研修後に寄せられた質問に対し講師の三好利和先生に御回答いただきました。

【質問1】人工呼吸について

胸骨圧迫とともに人工呼吸を行う方法は現在も有効でしょうか。

【回答1】

救急法の見直しは世界的に5年おきに見直しをされています。2020年に見直しされましたが、心肺蘇生法について大きな変更はありません。人工呼吸は大人の場合は心臓に要因がある意識不明や呼吸停止が多いので、慣れない人工呼吸よりも胸骨圧迫だけのほうが効果的という表示もありますが、講習を受けてきちんとした咽喉呼吸ができる救助者の行為は有効です。

【質問2】引率者の割合について

参加者の人数に対する引率者の割合を教えてください。

【回答2】

プログラムや対象年齢により、人数は変わります。一般的に組織キャンプを行う場合は、8人ぐらいの子どもに大人1名、幼児の場合は6人の子どもに大人1名ぐらいでしょう。

【質問3】事故に備えた保険について

事故に備えた保険の種類、選び方、おすすめの保険会社等を教えてください。

【回答3】

おすすめの保険会社は私からはお伝え出来ません。各保険会社の保険内容をご確認ください。各自が利用されている保険会社、代理店によくご相談ください。重要なことは傷害保険だけではなく、賠償責任保険も加入されることです。傷害保険とは別の内容になり、保険料も別になりますが、不可欠な保険と考えることが重要です。どこの保険会社にもありますのでご確認ください。

【質問4】事故が起きた場合の連絡の対応について

事故が起きた際に救急車・保護者以外の連絡すべき機関や、通報時に押さえておくべき情報を教えてください。

【回答4】

海の場合にはその場所の管理者(行政や港、漁協など)と海上保安庁、山の場合は各県の山岳警備隊や救助隊、地域の消防団が考えられます。捜索を行った場合には担当警察署や消防団への挨拶は必要です。通報時には実施要項と参加者名簿が必要です。

【質問5】リスクマネジメントに関する事例の収集方法について

新たな事例を、どのようなサイトや文献から収集するとよいでしょうか。また、それらの対応策や防止策について、どのように学んでいくとよいでしょうか。

【回答5】

事故事例や事故情報はHPの検索サイトで十分ではないでしょうか。判例の場合は判例のサイトがあります。普段からニュースの内容で自然体験活動に関する情報をリストアップしておくといいですね。対応策や防止策はまず身近なメンバー間のワークがおすすめです。難しく考えず、いろいろな意見を出し合うとよいでしょう。壁にぶつかった場合は専門家にアドバイスを求めるのがよいでしょう。